

製造部門をはじめ他の業種・部門にも必須の原価管理の基本をわかりやすく解説

原価のしくみと実践法

～原価のしくみを理解し、コストダウンと価格戦略につなげる～

◎原価のしくみを理解せずして、利益の確保・増大はありません

原材料価格の大幅な変動、激化するグローバル競争など、企業環境はますます変化の激しい状況にあります。このような中、利益を確実に確保し、かつ利益率を高めていくには、原価を管理する部門のみならず、社員一人ひとりが原価の仕組みを正しく理解し、常に原価を意識した行動をとることが必要です。

◎原価は、あらゆる業種、部門に必要な知識です

原価の仕組みを理解することは、個々人の業務上のコスト意識を高め、結果として利益を生み出す組織づくりに直結します。そのため、製造業のみならずサービス業を含めたあらゆる業種、あらゆる部門においても必要な知識です。

◎原価の基本について、演習を交えてわかりやすく解説します

本セミナーは、初めて原価について学ぶ方にも理解いただきやすいよう、基本からわかりやすく、実務に即した演習を豊富にまじえながらすすめてまいります。

と き

2025年 10月20日(月) 10:00～17:00

と ころ

九州生産性本部 セミナー室

福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 電気ビル共創館6階

対 象

製造・技術部門の方

原価管理・経理・営業部門の方

業種・部門にかかわらず原価について関心をお持ちの方

講 師

株式会社MEマネジメントサービス
マネジメントコンサルタント・公認会計士

橋本賢一氏

参 加 費

賛助会員企業の方(1名につき)

29,700円 (本体価格27,000円 消費税2,700円)

未会員企業の方(1名につき)

41,800円 (本体価格38,000円 消費税3,800円)

講師紹介

(株)MEマネジメントサービス
マネジメントコンサルタント・
公認会計士

橋本賢一氏



1969年中央大学商学部卒業。公認会計士事務所、日本能率協会チーフコンサルタントなどを経て、1985年(株)MEマネジメントサービスを設立。現在、中堅企業から大手企業まで多くの企業で、原価企画・コスト管理・生産革新・生産性向上等に関するコンサルティング活動やセミナー講師として活躍。日本国内のみならず、中国・タイ・韓国などの海外でもコンサルティング活動を行う。実務に密着した実践的で明快な指導ぶりには定評がある。

〈著書〉「実践原価計算」

「見える化でわかる限界利益と付加価値」

「見える化でわかる間接・サービス部門の原価管理」

「見える化でわかる売り値と買い値」

「よくわかる原価のしくみ」

「よくわかるムダとりの本」

「初乗り610円にダマされるな!」

「社長! 経営が見えていますか?」

第1章 原価のしくみ **—原価に関する基礎的な用語を理解しよう—**

- 1-1 利益はどのように計算されているか
演習：製造原価報告書作成問題
- 1-2 費用・原価とは何か
- 1-3 直接費・間接費とは何か
- 1-4 変動費・固定費とは何か

原価が分らずに、利益は判らない
製造原価報告書から何が見える？
費用と原価は何が違う？
直間から材料費と加工費に分ける
直接労務費は変動費か固定費か？

第2章 標準・見積原価計算の進め方 **—製品・工程別の原価を算定する—**

- 2-1 事後と事前に見る原価
- 2-2 材料費の見積
- 2-3 加工単価(加工費レート)の見積
- 2-4 加工時間の見積
演習：見積原価計算問題
演習：価格決定問題

事後より事前に見る原価を知ることが大事
スクラップが出る材料を見積もるには？
変動費・固定費レート設定が必須
製品別・工程別の時間を見積もる
材料消費量・時間見積が出来れば簡単
赤字受注とは何利益が赤か？

第3章 原価計算から原価管理へ **—技術の原価企画と製造の標準原価管理—**

- 3-1 コストは見えるようにすることから
- 3-2 誰がコストを下げるのか。
演習：製品別・部門別原価計算
- 3-3 何をコストダウンするか。
- 3-4 どれくらいコストが下がるか。
演習：ABC・PPM分析問題

分けて→測るとコストの中身が見える
人によりコストダウンの役割が違う
管理の主体は「人」である
人別にコストダウン課題を明確にする
あるべき姿の追求でCD余地が見える
人別に効果の大きいCDテーマを選ぶ

第4章 原価計算結果を経営に役立てる **—損益を分ける分岐点がある—**

- 4-1 損益分岐点を計算してみる
演習：損益分岐点問題
- 4-2 利益を増やす5つの方法がある
- 4-3 赤字受注しても利益が出る
演習：意思決定問題

固定費を限界利益で回収する点
損益分岐点分析をどう使うか？
利益の出る製品ミックスが大事
値引き要求に応じるか？
外注した方が安い？

やっぱり経営は「利益が出るかどうか」が事前に判ることから!! と納得(某受講者)

※当日は電卓をご持参ください。

- 本セミナーはWEBでの申込受付となります。
- お申込み後、参加証・請求書をダウンロードいただける「申込確定メール」をお送りします。
- 参加費は開催前日までにお振込みください。
- キャンセル料につきましては、ホームページをご参照ください。
- 同業の方のご参加、プログラムの転用はご遠慮ください。

※詳細・お申込はこちらから

九州生産性 原価の仕組みと実践法 で 検索

公益財団法人 九州生産性本部 (担当：太田) 270
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 電気ビル共創館6階
TEL/092-771-6481 FAX/092-771-6490

<https://qpc.or.jp/>



電気ビル共創館までご案内します。



企業内研修(講師派遣)をご希望の方へ

当本部では、企業内研修への講師派遣を行っております。
本講座の内容をはじめ、貴社のご要望に合わせた研修会の
企画・提案も承っております。
詳細は、左記担当までお問合せください。

当本部事業の案内は会員企業・労組のほか、一般の企業・労組にもお送りしております。今後、このような経営・教育等の講座案内が一切不要な場合は、上記に記載の担当者または当本部お客様相談窓口までご連絡ください。